

## 1 日常の学習状況・課題について

- (1) 意欲的に学習に取り組もうとする生徒が多い。
- (2) 授業の進度において、ついてくることができない生徒が2割程度いる。
- (3) 1学期期末テストの作文問題で、未回答が2割いる。苦手意識が強く、何を書いているのか、どう書いているのかが分かっていない。
- (4) 特別な支援を要する生徒が数名いる。具体的には、授業の道具がそろわなかったり、プリントの管理ができなかったりする。

## 2 改善の計画

- (1) 学習面
  - ・毎時間「本時の目標」を示し、学習の見通しをもたせた授業展開をする。
  - ・家庭学習の習慣を付けさせるため、漢字小テストを実施するだけでなく、やり直しをするように指導する。
  - ・自分の考えを発表する機会をより多く設ける。
  - ・4人組での学習の機会を増やし、気軽に友達に質問できる環境をつくる。
  - ・討論などの見本を参考にさせる。また、互いの討論を相互に評価する機会を設ける。
- (2) 指導面
  - ・他人の書いた文章を読ませる機会を多く設ける。  
相互に評価し合うことで「書く力」の向上を図る。
  - ・4人組での活動において、生徒の力を向上させる課題設定を心がける。
  - ・自分の考えを他人に紹介する機会を増やし、他人と自分の意見を比較する習慣を付けさせる。
  - ・宿題を通して、基礎基本（小学生までの漢字が書ける等）事項が定着するようになる。
  - ・単元ごとに生徒に自己評価をさせ、自分の理解度を確認させる。

## 3 プランの評価方法

- (1) 授業アンケートを行い、変容を見る。
- (2) 年度末に、観点別学習状況の評価を前年度と比較する。